

元気宣言

地域コミュニティの発展が日本中を元気にする!

平成23年11月30日(隔月刊)
 発行…株式会社 大山組
 編集…大山組営業部企画室
 住所…神奈川県川崎市中原区
 新丸子東1-827
 発行部数…100,000部
www.ohyamagumi.co.jp

まちづくり応援マガジン
 supported by Ohyamagumi

[第51号] ご希望の方には毎月直接無料でお送り致します。
 こちらまで → ☎ 0120-6600-62

建主探訪 中原区下沼部 (有)みのや 代表 増田 尚夫 様

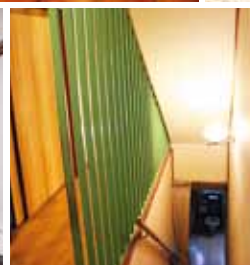
広い店内にはいつもたくさんさんのパンが



長時間発酵で作られる、みのやあんぱん。創業以来変わらない味です。



築31年になる建物



当時のモダンなこだわりを感じさせる角の丸い窓サッシと鉄骨格子の階段。

「30年経っても狂いのない建物です」

建替え前のみのやさん



南武線向河原駅前の小麦工房みのやさん。代表の増田尚夫さん(68)と息子の尚之さん(35)が、毎日20人のスタッフさんたちと一緒に80種類以上のパンを焼く、地元では知らない人はいない人気のベーカリーです。このみのやさんの建物は築31年の鉄骨造ALCの3階建て。1階が店舗と工場、

2、3階が増田さんご一家のお住まいで、現在も新築当時そのままの姿で営業しています。室内も、角の丸い窓サッシや、鉄骨格子の階段など、当時の斬新なこだわりで設計された内装がそのまま。30年経っても変わらない建物で、今日も焼き立てのパンの香りとお客様の喜ぶ声に包まれています。

増田代表のお話

「この地で昭和23年に創業し、以来60年余り。当時からの製法は受け継ぎ、伝統を守りつつ新しいパンやサービスに取り組んでいます。みのやという屋号は先代で父の巳之松から来ています。この建物は私が37歳のときに、父から一切を任されて当時木造2階建てだった建物を建て替えました。大地震や災害でもビクともしないよう、長持ちで頑丈な建物を大山組さんに頼んだのですが、その言葉通り、30年経っても不具合のない注文通りの建物です。当時の大山組さんの技術責任者が、社内検査で手摺に2重にナットを付け直せとか、トイレには柵板を追加するようになど厳しく的確な指示をしているのを見て、これはすごいなと思ったのを今でも鮮明に覚えています。まだ直し直し使えば100年は持ちますよ。木造の2回分ですかね。あまりにしっかり造ってもらったので建替えは全く考えていません。ある意味とても経済的ですね。非常に信頼していますよ。(笑)」



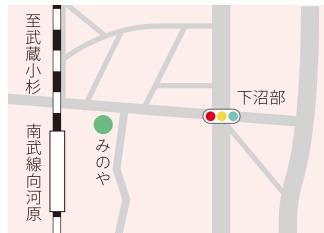
増田さん親子



住所:川崎市中原区下沼部1759
 TEL/FAX:044-411-2916
 OPEN:7:00~19:00
 定休日:日曜/祝日

アクセス:JR南武線 向河原駅1分
 E-mail:komugikoubou.minoya@gmail.com

設計施工:(株)大山組



マンション・ビル建設なら
 総合建設会社 創業65年

株式会社 大山組

☎ 0120-6600-62

TEL:044-411-3708 FAX:044-433-4595

<http://www.ohyamagumi.co.jp>

〒211-0004 川崎市中原区新丸子東1-827



女性プランナーによるリフォーム&インテリアのお店

デザインステーション



大山組 デザインステーション

☎044-411-8808

<http://www.design-station.net>

〒211-0004 川崎市中原区新丸子東1-773 NewHIMM

営業時間:月~土/10:00~18:00 火・日・祝 定休



片付けも仕分けとバランス

Reform Close Up

リフォーム
クローズアップ



見せる収納💡 見せない収納

年末恒例のお片づけの時期になりました！でもさあ片付けを始めてみたら、どこに何を片付ければいいのか…？忙しい年末に悩まないためには、普段からの片付ける習慣が大切です。そのためには、片付ける場所がわかりやすく、部屋がすっきり見えて、さらに自分らしい空間を演出できる収納を考える必要があります。今回は、その効果的な方法として「見せる収納」と「見せない収納」の仕分けをした例をいくつかご紹介します！

「見せる」と「見せない」のバランス例

M邸・リビングルーム

キッチンとの間仕切り引戸がガラスになっているリビングです。開けても閉めても見えるうぐいす色の対面キッチンが空間のポイント。メインの収納は左側の造作収納棚と、右側のオープン棚。どちらも天井・床と同色でシンプルにまとめています。



【見せる&見せない収納】扉のついた収納棚。雑多なものはここへ収納。中央だけ、いつも扉をあけておきたい大切な仏壇を納めるよう腰の高さのオープン棚にしています。電源が必要なので、棚の背板にコンセントをつけています。



K邸・キッチン&ダイニング

腰壁で囲った、セミオープン型キッチンです。手前に続くダイニングからはシンク側の手元は見えず、背面の壁とカウンターがよく見えるレイアウトで、これを収納に活かしています。

【見せる&見せない収納】カウンター収納。上部の高さ20センチ程のオープン部に、ランチョンマットや小物などを収納。素敵なデザインを厳選して置きます。扉内には、思い出のアルバム、辞書やA4ファイルなど、2段に収納。



扉を開けると…

【見せる収納】

デッドスペースを利用したオープン棚。ガラス引戸を右に納めても、棚の中が見える仕掛けです。ここでは家族の写真や趣味のものを収納。

【見せる収納】

家電カウンター上のオープン棚。乾物類やスナックなど、軽くてかさばる物をかごに入れて収納。かご好きな奥様が長年愛用しているもので、見せる収納にしています。



引戸を開けると…

【見せない収納】

引き違い戸の中はパントリー。キッチン廻りのストックや、見せたくない小物も収納。可動棚なので、いつでも高さを変えられます。



「見せる」＝「魅せる」収納例



T邸・吊オープン棚

キッチンカウンター上には、まるでカフェバーのような吊オープン棚。天井からライトを当てて、大好きなお酒のボトルとワイングラスがリビングからも見えるようになっています。



S邸・ショーケース

来客にもすぐ目にとまる廊下に、壁埋め込みの棚をつけました。漆喰の空間の中に、ガラス扉からもれる光が印象的で、コレクションが引き立ちます。



S写真スタジオ・巨大フック

撮影時の背景に使うスクリーンを丸めて、壁面に取り付けた巨大なフックに収納。たくさんある物を綺麗に並べて、あえて隠さずに見せてしまう方法。いろんな物に応用できます。

仕分けをして何を見せたいかが決まったら、見せ方も考えましょう。そのままを「見せる」だけでなく、より演出して「魅せる」収納をご紹介します。

リフォーム後数年が経過したお宅もありますが、ご覧のように普段からきれいに片付いています。「見せる&見せない」を上手に活用し、空間演出と収納を見事に両立されています。片付いた部屋ではデザインや素材の良さが際立ち、住む方の個性も見えてきます。すっきり美しい住まいを目指して、是非一度、一緒に収納を見直してみませんか？



読者の小窓

いつも楽しく、感心しながら読ませていただいています。というのも、私、じつは編集の仕事をしているのですが、プロの目から見ても、この元気宣言はとてもよくできているなあと(エラそうですみません!)感じているんです。決して派手ではありませんが(これまたすみません!)、家づくりを通して、施主さんと大山組さんとの間であたたかいコミュニケーションが交わされているのがよくわかる。家づくりって、こうありがたいですね。物件紹介も、間取りやこだわった点などが住む人の立場に立ってわかりやすく解説されていて、とても参考になります。1枚のチラシかもしれませんが、家づくりで人が幸せになる、そんなストーリーをこれからも届けてください。応援しています。(中原区 山村恭恵さん)

編集後記

読者の方から応援のお手紙を頂きました。ありがとうございました!素人なりにあてもないこうでもないと苦節8年。編集のプロからお褒めの言葉を頂き、あまりに嬉しいので、突然ですが新コーナー「読者の小窓」を始めました。今どきテレビだって双方向コミュニケーションの時代。こうなったら元気宣言も時代の波に乗って、読者と大いに語り合って、まちづくり応援マガジンの名に恥じぬよう、日本中をドーンと盛り上げていこうじゃあ〜りませんか!なーんでだいぶ大げさですが、兎にも角にも物は試し。ということで叱咤激励(?)のお手紙、どしどしお待ちしております。(^^);(こ)